

第一種電気工事士技能講習



本校では様々な資格取得のための講習を学校内で行っています。

この写真は第一種電気工事士の技能講習の様子です。

電気工事士は国家資格であり、主に建物の壁や天井の裏などの配線工事を行うことができる二種と、主に高圧受変電設備を範囲とする一種があります。

先に行われる筆記試験に合格すると、技能試験を受験することができます。技能試験に合格すれば電気工事士の資格を※取得となります。

第一種電気工事士は第二種電気工事士よりも難易度が高く、合格率も低いです。その難しさから、神奈川県内の他の工科高校や工業高校でも講習をしている学校は非常に少ないです。

第一種電気工事士の筆記試験の合格率は、全国的に見ても今年度は50.3%ですが、今年度の本校の生徒は14名中12名が筆記試験に合格しており、現在は技能試験の練習中です。技能試験を含めた昨年度の合格率は全国で約30%程度ですが、本校は昨年度8名中7名が合格しました。今年度は技能試験全員合格を目指して講習を受ける生徒や講習をする教員もがんばっています。

	筆記試験	技能試験	本校合格率	全国合格率
平成28年度	12 / 14	? / 12	筆記のみ約85.7%	筆記のみ約37.0%
平成27年度	7 / 14	7 / 8	約46.7%	約30.6%

※1 筆記試験に合格すると、技能試験に不合格になっても次年度の筆記試験が免除になるため、筆記合格者＝技能受験者にはなりません。

※2 第一種電気工事士は筆記・技能試験両方に合格して、実務経験を経て取得になります。

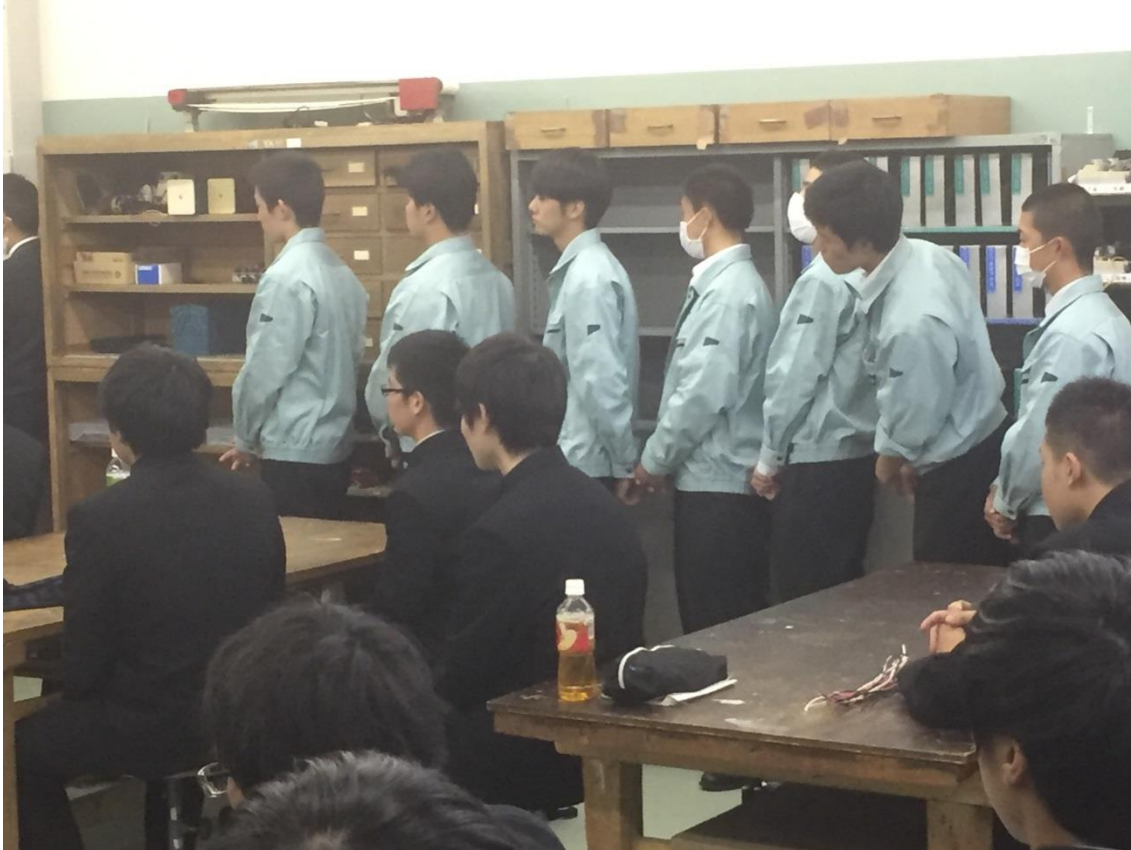
※3 全国合格率は、一般財団法人電気技術者試験センターのHPより抜粋算出。

電気工事士講習会に参加

11月23日（水）に神奈川工業高等学校で行われた第一種・第二種電気工事士の技能講習会に本校の生徒が参加しました。

企業の方々から回路の完成度や複線図についてお褒めの言葉をいただきました。

本校では、このような取組に参加することで技術面の向上を図るだけではなく、企業に対して学校や生徒のアピールをしています。特に電気設備業の求人数は年々増えており、この業界に進む生徒も増えています。生徒は企業の方からのアドバイスで自信を持ち、技能試験の練習に一層熱心に励んでいます。



写真は閉講式の様子